

## タワー・クラシック企画盤初 SACD ハイブリッド盤を特別価格で実現 山田一雄氏 セッション録音を SACD ハイブリッド盤で2 タイトルリリース 7月26日(金)発売決定

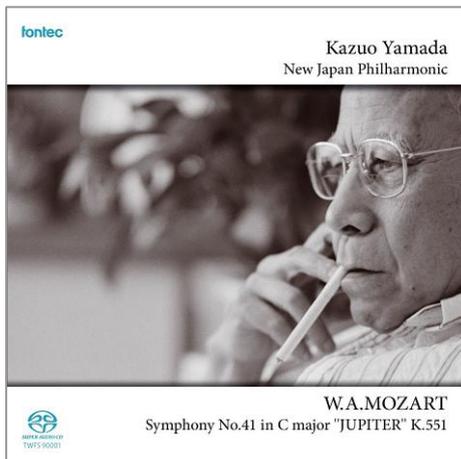
タワーレコードでは、クラシック・ジャンルでのタワーレコード・オリジナル企画盤シリーズ史上初の SACD ハイブリッド盤として山田一雄氏の作品2タイトルを7月26日(金)に発売することが決定しました。

タワーレコードではこれまで「タワーレコード・オリジナル企画盤」を約9年間で約600種以上リリースし、好評を博してきました。通常のCD発売に対して、皆様の手に取りやすい価格をモットーに企画を進めてまいりましたが、高音質盤リクエストの声が多く、初めてSACDハイブリッド盤を発売。株式会社フォンテックの協力のもと、各¥1,700というこれまでにない価格を実現して発売します。

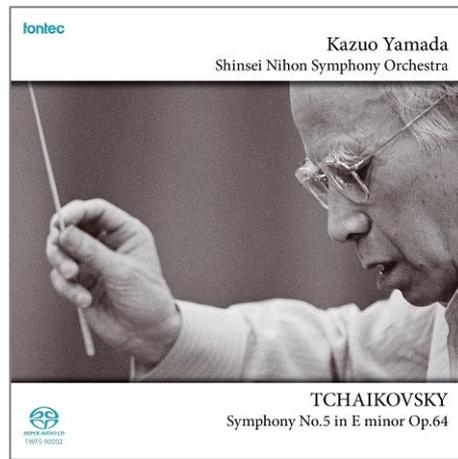
今回、数多くの候補音源の中から発売するのは、指揮者の山田一雄氏の音源でセッション録音の「モーツァルト：交響曲第41番「ジュピター」、セレナータ・ノットウルナ、他」と「チャイコフスキー：交響曲第5番」の2タイトル。いずれも山田氏の晩年に録音された貴重な音源で、1990年代前半に発売されて以降、ここ暫く廃盤となっていた作品です。

今回の発売をきっかけに改めてマスターより最新のDSDリマスタリングを施し、SACDとして生まれ変わったことにより、山田氏最後のセッション録音であり、亡くなる1年前に録音されたモーツァルトは、より鮮明で柔和な音質に加え、実際の熱い演奏を克明に感じられるようになっていきます。一方、1989年録音のチャイコフスキー5番は、そのパッション溢れる雰囲気そのまま閉じ込めたかのような魅力的な音色に変化しており、どちらも従来のCDフォーマット以上の音質で楽しむことができます。

タワーレコードでは山田一雄氏の素晴らしい遺産を未来に残すべく、これからも音源の発掘や復刻を行ってまいります。



モーツァルト：交響曲第41番「ジュピター」、  
セレナータ・ノットウルナ、他／  
山田一雄、新日本フィルハーモニー交響楽団



チャイコフスキー：交響曲第5番／  
山田一雄、新星日本交響楽団

<ご取材ならびにこの件に関するお問い合わせ先>  
タワーレコード株式会社 広報室 谷河(やがわ)、高橋、松本、伊早坂  
TEL：03-4332-0705 Email：press@tower.co.jp

<商品情報>

モーツァルト：交響曲第 41 番「ジュピター」、セレナータ・ノットウルナ、他

山田一雄、新日本フィルハーモニー交響楽団

品番： TWFS-90001 (1SACD ハイブリッド)

価格： ¥1,700 (税込)

**【収録曲】**

モーツァルト：

1.交響曲第 41 番 ハ長調「ジュピター」 K.551

2.オペラ「偽の女庭師」序曲 K.196

3.セレナード第 6 番 ニ長調「セレナータ・ノットウルナ」 K.239

**【演奏】**

新日本フィルハーモニー交響楽団

山田一雄 (指揮)

**【録音】**

1990 年 8 月 30,31 日 洗足学園前田ホール(セッション・レコーディング)

**チャイコフスキー：交響曲第 5 番**

山田一雄、新星日本交響楽団

品番： TWFS-90002 (1SACD ハイブリッド)

価格： ¥1,700 (税込)

**【収録曲】**

チャイコフスキー：交響曲第 5 番 ホ短調 作品 64

**【演奏】**

新星日本交響楽団

山田一雄 (指揮)

**【録音】**

1989 年 3 月 7,8 日 新座市民会館(セッション・レコーディング)